

又四卷に、板蓋之、黒木乃屋根者、山近之、明日取而持將參來、黒樹取草毛刈乍仕、目利、勤和氣登將、譽十方不在、又八卷に、波太須珠寸、尾花逆、黒木用造有、家者迄、萬代これらを合て思べし、茅と云一種あるも、屋ふくに主と用る故の名なり、さて野神の御名に負給へる故は、野の主とある物は草にて、草の用は、屋葺ぞ主なりける、故草字をやがて加夜とも訓り、上代は大御殿を始て、凡て草もて葺つればなり、

〔和漢三才圖會九十二本草類〕

按凡草始生、曰苗音妙、和訓奈倍、萌出曰芽音牙、和訓女、枝葉豐盛曰茂音懣、和訓之介流、花下柑曰萼音謬、俗云花乃倍太、含實曰繩音孕、俗云花乃止知、周禮注曰、艾其繩則實不成、又綴實底曰帶瓜帶、柳帶、應劭木實曰果、草實曰臑音裸、又有核曰果、無核曰臑、

時珍曰、天造地化、而草木生焉、剛交于柔、而成根、莖、柔交于剛、而成枝、幹、葉、屬陽、華、實、屬陰、由是草中有木、木中有草、得氣之粹者、爲良、得氣之戾者、爲毒、故有五形、金、木、水、火、土、五氣、腥、臭、臊、五色、青、赤、黃、白、黑、五味、酸、甘、辛、鹹、五性、寒、熱、溫、涼、平、五用、升、降、浮、沈、神、農、嘗、而辨之、黃帝述而著之、

〔書言字考節用集十量〕三草麻、藍、紅花、木棉、麻、荏、

〔大和本草二目〕三草 麻 藍 紅花

〔地方要集錄〕畑方作毛見分三草、四木之類、雜穀、野菜之類、三草は麻、木綿、藍なり、タバコ、藺、紅花共六草とも云、

〔書言字考節用集十量〕八草菖蒲、艾葉、車前、荷葉、蒼耳、忍冬、馬鞭、繁蕪、

〔大和本草二目〕八草 菖蒲 艾葉 茱萸 荷葉 蒼耳 忍冬 馬鞭 繁蕪

〔大和本草〕目錄

- 艸之一 菜蔬類七十六種 艸之二 藥類九十七種 艸之三 花艸七十三種 園艸十八種 艸之四 臑類九種
- 蔓艸七十三種 芳艸十六種 水艸三十六種 海艸八十二種 艸之五 雜艸七百三十種 菌類二十五種